

令和4年度 通学路安全推進会議

◎通学路安全推進会議を開催しました

6月1日、令和4年度の通学路安全推進会議が開催されました。この会議は、教育委員会、県と町の道路管理者、浦警察署、海士町内の3小中学校の教頭先生とPTA会長が推進委員となり、構成されています。会議では、通学路をより安全なものにするため、改善策の検討を行いました。

今回も、各校から、通学路の危険箇所が挙げられました。金具が取れていたり、草木が伸びているところは、会議後、

早急に環境整備課が設置し直したり、次の草刈り計画に追加したりと、対応を進めています。

一方で、中村旅館と黒田商店前の十字路、海士車輛前の交差点、日須賀に通じる西公園前の交差点、菱浦の味蔵前の坂道については、写真だけでは改善策が決まらず、現地で検討を行いました。これらの箇所は、すでに何度か議題に上げられており、横断歩道の位置の調整、歩道の着色、看板の設置等を実施しています。今回は、ミラーの角度の調整、停止線の塗り直し、標識の位置の調整等の対応策が決まりました。

この会議の点検結果および対策内容（①危険箇所対策一覧表 ②対策箇所図）は海士町HPで公表します。各小中学校から挙げられた危険箇所と対策状況について、ぜひご確認ください。

◎通学路の思い出はありますか？

会議後、教育委員会の職員内で、通学路の思い出話に花が咲きました。そこで、海士小と福井小に通う子どもたちに通学路の思い出を聞いたところ、次のようなエピソードがありました。



・下級生と帰ったときに、下級生が「お腹が減った」というので、ビワをとって一緒に食べました。

・上級生の振り向きざまにランドセルが当たり、竹林に落ちて、友達に引き上げてもらいました。

・田んぼに落ちました。

・キジに追いかけられました。

・友達と話しながら登下校することがとっても楽しいです。

どの思い出も、自然豊かな海士町ならではの経験であり、聴きながら、改めて素敵な通学路だなと思えました。おそらく皆様も、通学路に関するたくさん思い出をお持ちではないでしょうか。

◎通学路の思い出を守るために

海士町のような、自然が身近にある通学路では、子どもたちが登下校中に生き物を発見したり、気になる草木が生えていた時に立ち止まって観察したり、花を夢中で摘んだりしているのだろうと想像しました。子どもたちの自然体験や生きた学びのための貴重な経験ができる通学路を、安心安全な環境にしていきたいと思えます。そのためにも、地域全体で日頃から「子どもたちの通学路を守る」という意識を持ち、自動車や自転車の安全運転を心がけましょう。そして、これからも、子どもたちが通学路でたくさん思い出を作れるように、守っていきましょう。

(教育委員会)

